

キャラクター名 阿道 仁蘭(あどう ひとら)	プレイヤー名
---------------------------	--------

シンドローム	ハヌマーン ハヌマーン	ワークス	アーティスト	カヴァー	高校生
オプション		年齢	16	性別	女
覚醒	渴望	衝動	解放	初期侵食率	35 %
出自	兄弟	経験	長期入院	邂逅	D:奇妙な隣人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	2	0	0			2	行動値	7
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	7
精神	2	1	0			3	戦闘移動	12
社会	2	0	0			2	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	8		交渉		
回避			知覚	1		意志	2		調達	3	
運転:			芸術:音楽	2		知識:			情報:ウェブ	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:学園	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ギター	白兵	2r-3	0	2		<芸術:音楽>の達成値+1

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
----	----	----	----	----	----

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
ウェポンケース					
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費	
奇妙な隣人	P	N			
土浦菜南	P 好奇心	N 不安			
クリス	P 憧憬	N 不安			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	10	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
サイレンの魔女	7						5	
効果:								
疾風迅雷	3						3	
効果:								
援護の風	5						2	
効果:								
スピードフォース	1						4	
効果:								
オリジン:レジェンド	5						2	
効果:								
波紋の方陣	3						3	
効果:								
真偽感知	★							
効果:								
七色の声	★							
効果:								
空の楽器	★							
効果:								
蝙蝠の耳	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

アカデミアの新入生で、男勝りな女子。入学早々生徒会の女子にベタ惚れされたりしたのでイケメン女子。入学当初に一緒にデカイイカを倒した白湯のことは、最初は少しいけ好かないというか、感じが悪いやつだなと思っていたが事件を機に見直した模様。生徒会の佑のことは大変だなと同情しつつ頼りにしている。事件後はクラスメイトたちと仲良く学園生活を謳歌している。そして中学の頃と同じく軽音部に所属しはじめた。やっぱヴォーカルだよな!

絶対音感持ちであり、子供の頃から音楽が好きで、よく歌を歌っていた。歌えばみんなから褒めてもらえる、近所の合唱団に所属して精一杯歌っていた。しかし、小学校6年生になったある日、彼女は突如歌えなくなってしまった。というより、一種のスランプに陥ってしまった。思うように歌えない日々の中、彼女は強く思った。誰もが認める、歌声が欲しいと。誰にも負けない歌を歌いたいと。それを聞き届けたいのは、彼女の中に宿っていたレネゲイドだった。そして彼女は、微弱ながらも、ハヌマーンのピュアブリードとして覚醒した。しかし彼女はそれに気づかなかった。だからひょんなことで見られてしまった。初めて知った能力の片鱗を。人間ではなくなってしまったことを知ってしまった、知られてしまった。彼女の家族に。それ以来、家族の彼女への態度は変わった。両親は彼女を恐れ、避けるようになった。彼女の兄は彼女を化物と罵り、暴力を振るうようになった。けれど彼女はそれを受け入れるしかなかった。だってそうだろう、自分はもう人間ではないのだから。化物になってしまったのだから。彼女の幸せな日常は崩れ去った。そして異常な日々は、日常になっていった。それでも彼女はそれを悲観はしなかった。中学にありが、軽音部に所属して、大好きな音楽を続けた。歌い続けた。幸せな学校生活を謳歌した。それぐらいしか繋がるものがなかった。

中学三年生の卒業半年前ごろ、彼女は部活でたまたま帰りが遅くなった。たまたま乗れたバスが、謎の横転事故を起こし、炎上。彼女は重症を負い、死亡したかにみえた。しかし、死ぬ間際の彼女を救ったのは、とあるレネゲイドビーイングだった。そのレネゲイドビーイングは死にかけの彼女のレネゲイドを無理やり活性化させ、彼女は完全にオーヴァードとして覚醒した。そしてそのレネゲイドビーイングは、彼女にとりついた。事故から目覚めた彼女のもとにいたのは、家族ではなく、UGNだった。彼女は世界の真実を知った。その後、とあるエージェントに家庭環境を知られ、アカデミアに行くことを進められ、入学に至った。